

荒廃地での植生回復を可能としたタフグリーン工法

国土防災技術株式会社

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号 (TEL. 03-3436-3673)
関西分室 〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通2丁目1番30号 (三宮国際ビル) (TEL. 078-221-2213)

キーワード：荒廃地緑化，森林土壌，腐植土，土壌侵食防止マット，リサイクル資材

1. 概要

従来の植生工に期待される早期生育植物による表面侵食防止効果を土壌侵食防止マットで代用しながら、森林土壌に近い質な植生基盤を導入することで、荒廃地において目標とする植物群落への植生回復を安定して図ることが可能です。導入直後より耐侵食効果が期待でき植生基盤を中・長期的に安定維持することができるため、外来生物による早期緑化を必要としません（外来生物規制法対応）。成長の遅い在来種のための播種や無播種による郷土種の侵入が可能です。



図-2 土壌侵食防止マット

2. 特徴

- ・森林土壌に近い組成の植生基盤（リサイクル資材を使用）を斜面に吹付けます（図-1）。
- ・このため、保水性・保肥性・緩衝能力の高い土壌を実現しています。さらに、斜面乾燥や肥料切れを長期的に防止することが可能です。
- ・侵食防止効果の高い土壌侵食防止マットを植生基盤面に敷設します。マットは保水・保温効果といったマルチング効果も期待できます。マットには分解型と非分解型の2種類があります（図-2）。
- ・吹付時にはラス金網を用いず、補強短繊維・接合剤を植生基盤に混合することで面的・立体的結合を高め基盤の流出や流亡を防ぎます（図-3）。
- ・植生基盤は、用途に応じて配合が変えられ、現地伐採木チップや現地発生土の流用も可能です。また、強酸性地においても対応可能です。
- ・現地採取した郷土種子による植生回復も可能です。



図-3 補強短繊維（左）・接合剤（右）



施工前 施工後1年11ヶ月*

*（左：タフグリーン工法，右：植生基材吹付工）

図-4 施工事例（茨城県 道路工事）

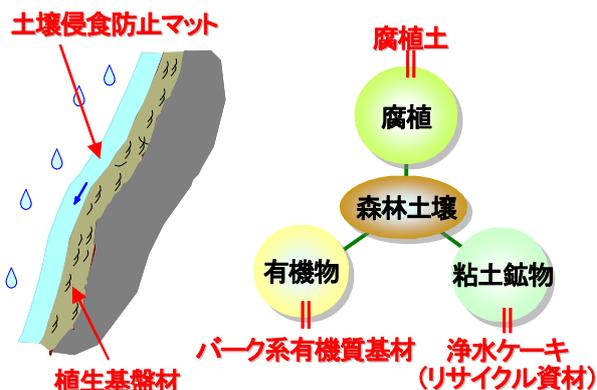


図-1 工法模式断面図及び森林土壌の組成と植生基盤の使用資材

3. 施工実績・特許等

(1) 施工実績

平成21年度4月現在までの施工実績は、計155件/約181,000m²
国土交通省12件、その他公共機関142件、民間1件

(2) 特許等

特許取得 第4087777号
NETIS登録 No. KT-040082-A

【問合せ先】

国土防災技術株式会社 担当：朝日 (TEL. 078-221-2213)